

中芸高だより

平成 27 年度
第 3 号



力を尽くして文化祭

10月23日(金)、24日(土)の二日間、「We are Legend」をテーマに、中芸高校文化祭が行われました。今年のモザイクアートは、中芸よさこいの地域への積極的発信に合わせ、鳴子をデザイン。希望や架け橋の象徴である虹にテーマを配し、体育館の舞台いっぱい広がる作品が出来上がりました。昼間部の生徒会と制作委員会を中心に、生徒、教職員、夜間部や田野分校の皆さんと共に、一ヶ月半ほどかけて完成させた大作です。二度目の取り組みで要領は分かっているものの、A3サイズの台紙374枚に1cm四方程の小さな色紙840枚ずつを貼り付ける作業は本当に根気のいる仕事です。なかなか減らない台紙を前に、昨年より短い製作期間という事情もあって不安を抱えながらの作業でしたが、31万枚余りにぼる小さな色紙を貼り続け、一つの校舎を共有する三つの学校の生徒たちの力を集結して、大きな大きな作品を作り上げることができました。

その壁画をバックに、ステージは山田養護学校田野分校がオープニング。小学部から高等部までそれぞれに太鼓や歌、踊りで盛り上げてくれました。続いて登場したのは、高知のPRに活躍されている「おもてなし勤王党」の皆さん。誰もが知る坂本龍馬さんのもともと、北川出身の中岡慎太郎さんと安芸の岩崎弥太郎さんには、地元への温かい言葉も頂きました。初めてという高校文化祭への出演は、楽しいトークにキレのある踊り、また舞台を降りての岡田以蔵さんによる生徒たちへの突撃インタビューもあり、ダンスは苦手と謙遜されながらも中芸よさこいのパフォーミングに、経験豊富なアドバイスをくださった、瓦版屋のおりょうさんたち五人の舞台には圧倒されるものがありました。最後は昼間部の三年生による歌とダンス。ハロウィンをテーマに、仮装をしての舞台で客席を沸かせました。二日目の一般公開では、沖繩又吉古武道の皆さんをお招きし、緊張感のある静寂の中で、伝統ある力強い演舞を全校生徒で鑑賞しました。作品展示では、力作の数々。田野分校さんや夜間部さんたちを含めた授業での取り組み紹介や、イラスト部の作品が並びました。



クラスの模擬店は、1H「フライドポテト」2H「唐揚げ」3H「ベビーカーテラ」3年「焼きそば・パウンドケーキ」といずれも盛況で早くから完売し、「美味しかった」の声をいただきました。またPTA役員の方には、朝早くからバザーで大変お世話になりました。ご来場・ご出演・ご協力いただきました地域・保護者の皆様、お客様で賑やかに文化祭を終えることができました。本当にありがとうございました。



中学生体験入学

9月28日(月)、13の中学校から47名の中学生が参加し、授業見学と、九つの講座に分かれての体験授業を行いました。生徒と先生、保護者の方の感想を一部紹介します。

- ◆自分の言葉の意味がわかって自分の名前がちょっと好きになりました。(国語)
- ◆DNAについてよくわかった。DNAをうまくとることが難しかったが、楽しく学ぶことができた。(理科)
- ◆スポンジテニスはやったことがありませんでしたが、手軽に楽しかったです(体育)
- ◆少し難しかったが、理解できるようになればとても楽に確率が求められるようになるので、とてもいいと思いました。(数学)
- ◆パソコンで計算できることを初めて知りました。楽しかったです。(商業)
- ◆ほぼ英語のみでの会話で難しかったです。よい経験となりました。(英語)
- ◆先輩方にやさしく教えて頂いたのでうれしかったです。(家庭)
- ◆思ったよりも難しかったけど、楽しくできてよかったです。(芸術)
- ◆わかりやすく説明してくれた。楽しかった。授業が楽しく感じた。(社会)



- ◆【先生、保護者より】
- ◆生徒の人数も少なく、時間の流れがゆったりとしている感じがします。
- ◆授業見学が短時間で移動になったので、一ヶ所何分位というような感じで、見学できたらよかったです。
- ◆生徒が発表したり案内してくださり、学校の温かい雰囲気を感じることができました。授業も落ち着いた様子でよかったです。少人数のよさを生かした学校だと思いました。
- ◆いろんな個性のある学校が増えると、生徒の多様化したニーズに対応できて良いと思う。



◆個別に課題のある生徒に対して、どのような対応を日々されているのか知る機会があると良い。

ユニバーサルフェスティバルin東部

11月8日(日)、県の社会福祉協議会が主催するユニバーサルフェスティバルが、結いの丘ドームで開催されました。イベントを通じて様々な情報を届けながら障害のある方の生活やスポーツに関心を持ってもらうことを目的に開催され、中芸高校は毎年スタッフとして参加しています。午前中は、「県民スポーツフェスティバルポッチャ競技大会」が行われ、生徒たちも選手や審判として参加しました。「ポッチャ」は障害のあるなしに関わらず誰でも楽しめる競技で、手足の不自由な人も専用の器具を用いてプレーします。真剣にボールを投じる姿を間近にし、教えられることも多かったことと思います。昼からは、出店のお手伝いやスポーツ体験(トランポリンやスポーツ用椅子レース等)の補助員として運営の一端を担い、最後は高校生がダンス指導に立ち、来場者全員で「ようかい体操」を踊り、和やかにエンディングを迎えました。こうした世代やハンディを超えたふれあいの中で、様々な人々との共生を意識する視野を培っていききたいものです。

マラソン大会

11月27日(金)、校内マラソン大会が実施され、男子8km、女子5kmの道のりを、学校から北川村方面に向けて駆け抜けました。今年は女子の大会新記録が出るなど、上位層が健闘。マラソンは自分との戦いですので、かなり辛い時もあったでしょうが、走りきった後の表情は誰もが晴れやかで、長い距離を完走した満足感を覚えたようです。本当にお疲れ様でした。



中芸よさこい、田野小へ

9月27日(日)、地元田野小学校の運動会に中芸よさこいが飛び入り参加。リニューアルに伴い、地域にもっと発信をしようとして、夏には田野町のお祭りに参加し、今回は運動会へ。踊りが次第に板についてきました。踊りの曲に挿入された校歌が好評で、小学生からは丁寧なお礼の手紙(写真)をいただきました。二学期は体験入学や、ユニバーサルフェスティバルなど、中芸よさこいを見ていただく機会が続きました。間もなく二年生から一年生に、踊り手のバトンが渡されます。先輩から後輩へ受け継がれていく新たな伝統を、大切に繋いでいきたいものです。



後期生徒会役員決定

前期役員と共に文化祭をやり遂げ、後期生徒会が始動しました。役員さんに協力して全校で生徒会を盛り上げていきましょう。

- ★会長 益岡勇輔
- ★副会長 山本芹楽良
- ★書記 植田里紗
- ★会計 垂水雅
- ★ボランティア担当 浦川誠人

